

# 抗体カクテル療法（中和抗体薬）について

## 1 抗体カクテル療法とは

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の軽症の患者さんに対して、重症化を防ぐことを目的とした治療です。
- ✓ 体調に異常がないことを確認しながら、20分から30分程度、点滴静脈注射を行います。
- ✓ 新型コロナウイルスに結合する2種類の抗体を混ぜ合わせて使用するため、抗体カクテル療法、中和抗体薬と称しています。



## 2 東京都から医療機関を紹介する対象者は

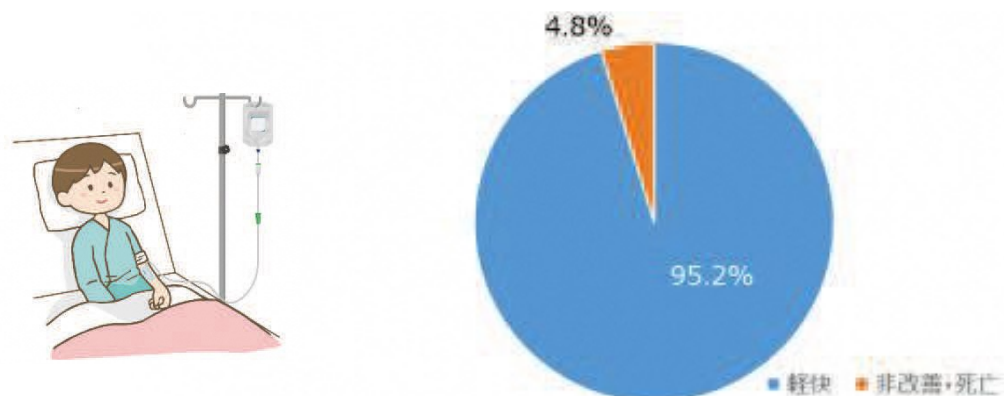
- ✓ 重症化リスク因子\*があり、発症日から5日以内の軽症の方となります。
- ✓ 息苦しさがあるなど（高流量酸素や人工呼吸器管理を要するなど）、重症の方は抗体カクテル療法の治療対象ではありません。
- ✓ 過去に注射剤などで重篤なアレルギー症状を起こしたことがある方、妊婦または妊娠している可能性のある方、授乳中の方は、治療を行う前に必ず医師や看護師にご相談ください。問診の結果、投与できない場合があります。



\* 重症化リスク因子とは  
50歳以上、心血管疾患（高血圧を含む。）、慢性肺疾患（喘息を含む。）、糖尿病、慢性腎疾患（透析を含む。）、慢性肝疾患、肥満、医師の判断に基づく免疫抑制状態

### 3 投与の効果

- ✓ 都内で投与後の経過について報告のあった 1,048 例のうち、投与から 14 日以上経過している 420 例を分析した結果、400 例で「軽快」となりました。（令和 3 年 9 月 3 日時点）



- \*「軽快」は、投与後に重い有害事象がなく、軽快と報告された数
- \*「非改善」は、投与後に酸素投与など悪化したケースや、軽快の報告がなく入院継続中の数
- \* 投与後の経過については、抗体カクテル療法以外の要素も含まれる。

東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議資料（令和3年9月9日）より。

### 4 副作用

- ✓ 中和抗体薬を点滴したときにおこることがある体の反応で、過敏症やアレルギーのような症状があらわれます。

#### 薬剤を点滴中または直後に起こる有害事象（インフュージョンリアクション）

- ・発熱 ・悪寒 ・吐き気 ・不整脈 ・胸痛 ・胸の不快感 ・力が入らない ・頭痛
- ・じんま疹 ・全身のかゆみ ・筋肉痛 ・喉の痛み など

#### 重篤な過敏症

- ・全身のかゆみ ・じんま疹 ・皮膚の赤み ・ふらつき ・吐き気 ・嘔吐
- ・息苦しい ・冷汗が出る ・めまい ・顔面蒼白 ・手足が冷たくなる など

